

全日本中学校技術・家庭科研究会

第21回 全国中学生創造ものづくり教育フェア

創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会実施要項

1 目 的

- (1) 中学校技術・家庭科での学習した知識や技能を生かし、ロボットの設計・製作を行い、その成果の発表の場とするとともに、知識や技能の向上を図る。
- (2) コンテストはひとつの授業の場として、参加者が互いに工夫点や機能性、構造等を学びあえるようにする。また、ものづくりに取り組んできた全国の中学生の交流の場とし、得点至上主義に走らず、発想や製作技術・努力を評価し合う。

2 方 式

地区大会は各地区大会の運営に準ずる。対面式、オンライン式で代表を選出してもらう。

全国大会は ZOOM を使用したオンライン方式で行う。各会場および参加会場の学校と ZOOM で接続し、本部中継による同時配信を行い競技を行う。競技は各部門1回のみのおの対戦とし、PR 動画や PR タイムなど総合的に判断をして、賞を決定する。

3 期 日

令和4年1月22日(土)・23日(日)

4 会 場

- (1) 1月22日(土) 競技(ZOOM開催・YouTube ライブ配信)
 - 1月23日(日) 表彰(本部に準ずる)
- ※ オンライン開催の場合 → 中継会場：武蔵野総合体育館(会場への入館はできません)

5 競技部門

- (1) 基礎部門 「Ace in the hole」
中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で製作できるロボットの部門。
中学3年間で1度のみ参加が可能。
- (2) 計測・制御部門 「ドキドキ！ロボット収穫祭 ～「スマート農業」に挑戦！～
中学校技術・家庭科の授業の基礎的・基本的な知識や技能で参加できるロボットとプログラミングの部門。
中学3年間で複数回参加が可能。
- (3) 応用・発展部門 「ロボットレスキュー隊出動！」～自律運搬ロボと協働で救助せよ！～
中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を最大限に発揮して製作されたロボットの部門。
中学3年間で複数回参加が可能。
- (4) パフォーマンス部門
技術・家庭科の全内容を対象にした動画作品部門。例えば栽培育成の記録や地域の料理を紹介するなど授業の取組を動画として発表する。

6 日 程 オンライン開催を主とした日程

0日目(21日:金)ー武蔵野総合体育館

会場準備

接続確認① 16:00～

1日目(22日:土)ー武蔵野総合体育館

役員集合 8:30～

役員打合	8:45～
接続確認②	9:00～
開会式	9:30
	① 開会の言葉 ② 事業部長挨拶 ③ 来賓挨拶 ④ 審査員紹介及び挨拶 ⑤ 選手宣誓 ⑦ 閉会の言葉 ⑧ 諸連絡
ルール確認	10:00～10:30 (ルール確認担当生徒各チーム1名まで)
競技	10:30～13:30 (各部門12試合×15分)
競技内訳	PR1チーム2分以内 競技は最大で2分30秒 審査員からの質疑各チーム2分
閉会式	13:30～14:00
	① 開会の言葉 ② 講評 ③ 閉会の言葉 ④ 諸連絡

審査結果と賞については、HPの掲載にて、確認をしてもらう。

2日目(23日:日)

全体表彰式の開催の有無は、本部に準ずる。

7 参加資格・申し込み方法

- (1) 各都道府県の中学校に在学する生徒で、校長及び都道府県技術・家庭科研究会長が参加を認めた者とする。
- (2) 各ブロック大会において選抜され、ブロック中学校技術・家庭科研究会会長の推薦を受けたものとする。
- (3) 申し込みについては、創造アイデアロボットコンテスト全国大会の Web ページを参照してください。
(<http://ajigika.ne.jp/~robo/>)

8 参加費について

参加費については、指定口座に各支部長が振り込みを行う。

9 参加チーム数

- (1) 「基礎部門」「計測制御部門」「応用部門」 各24チーム

北海道ブロック	3	東北ブロック	3	関東・甲信越ブロック	3
東海・北陸ブロック	3	近畿ブロック	3	中国・四国ブロック	3
九州・沖縄ブロック	3	運営担当枠	3		

※運営枠 東京都(全体)、埼玉県(全体)九州・沖縄地区(基礎部門)
中国・四国地区(計測・制御部門 / 応用・発展部門)
※欠員が出た場合の補充は行わない。

- (2) パフォーマンス部門 各ブロック5チーム

10 競技とPRについて

- (1) 競技内容については、「創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会公式HP」を参照してください。
- (2) 大会はオンラインによるリモートで参加してもらいます。
- (3) コロナの感染拡大により県をまたぐ移動が不可能になることも予測されるため、出場に際しは都道府県単位で会場を準備してください。また「車検」、「タイマー」、「撮影」、「オンライン調整」、「審判」等の役割分担が発生するため、出場校単独(教員1名)にならないよう都道府県内で協力体制をご準備ください。
- (4) 「PR」動画はYouTube 配信を予定しています。また、競技開始前に、審査員に2分以内で、ロボットのアイデアを紹介してもらいます。

11 使用機器

- (1) ZOOM4回線(各競技3回線+審査員1回線)
- (2) 競技会場ごとに広角webカメラ1台と三脚1台とZOOMに接続するためのパソコン端末1台

12 表彰について

文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、特許庁長官賞、(公財)つくば科学万博記念財団理事 長賞、全日本中学校技術・家庭科研究会長賞、日本産業技術教育学会賞、(公社)全国中学校産業教育教材振興協会賞、審査員特別賞、競技順位賞(1位～3位)

13 審査の基準について

製作したロボットの、機構、機能、効率、工夫や創造、加工精度や操縦技能、チームワーク等を審査し、試合の勝敗を加味しつつ審査するものとする。また部門により特性があるので、部門に応じて審査項目および配点を決定する。

14 各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者のメーリングリスト登録について

各都道府県ロボコン担当者又はフェア担当者は、メーリングリストの登録手続きを必ず行ってください。詳細につきましては、Web ページをご覧ください。

15 保険の加入について

各地区で移動が必要な場合は、その都度、判断をして加入してください。

16 質問・問い合わせ

各都道府県ロボコン担当者又はブロックフェア担当者を通して問い合わせください。ルールについては、ロボコングループメールにて対応します。各都道府県ロボコン担当者やブロックフェア担当者には問い合わせないでください。グループメールへの参加はWeb ページで確認してください。

17 その他

- ① 会場へは入館できません。
- ② リモートでの参加の場合の服装は「制服」で参加してください。制服のない学校においては「正装の扱いとなりうる服装」で参加してください。
- ③ 新型コロナウイルス感染症における緊急事態宣言等で要項の内容が変更する場合があります。

問い合わせ
全国中学生創造ものづくり教育フェア創造アイデアロボコンテスト運営事務局
江戸川区立春江中学校 村山 瑛雄
〒132-0003
東京都江戸川区春江町2-47-1
TEL 03-3678-9241
E-mail : aidea.robokon@gmail.com

18 訂正加筆

R3 0802 加筆 計測・制御部門の競技名訂正

R3 0805 加筆 運営枠の訂正